

# ちよい



## 平成24年度 弥生校下成人式

平成25年1月13日  
於：ホテル日航金沢

### 式辞(抜粋)

弥生公民館 館長  
山本 茂

ゆく河の流れは絶えずして、しかも元の水にあらず……。

方丈記の有名な冒頭の一文です。時というものは一瞬たりとも立ち止まらずに進み続けています。世の中も人の心も刻々変化の中にあります。

一昨年の東日本大震災からはや二年になろうとしています。風化させてはいけない大災害の記憶ではありますが、逆説的ですけども、人の悲しみや記憶というものが徐々に薄らいでいくものであるからこそ我々は前に進めるのだとも言えます。

二十代の前半、私は大きな悲しみを伴った絶望感の中にいた時期がありました。しかし、心を内側へ向ける事を止め、心を外へ向けはじめ半年が経ち、一年が経ち、……ようやく立ち直っている自分に気がつき、時の流れというものには悲しみを癒してくれるものなのだと思います。

未来へ繋がる痛みならば受け止めて、それを経験にして未来へ向かえればいい。しかし、過去を引き摺る痛みならば、記憶の片隅にしまいこもう。しかしその痛みも又人生における大切な糧の一つとなり得るのです……。

### 祝辞(抜粋)

町会連合会 会長  
相川久嗣

新成人の皆さん、今日という晴れの日を迎えられ、心からお慶び申し上げます。

私は泉中学校でまたま放送部に入ったことで、将来は新聞社が放送局で働きたいという目標ができて、大学は新聞学科に進学しました。念願かなって新聞社に就職できたものの、実社会では大学で学んだ専門教科は余り役立ちませんでした。一つだけ以後の私の人生を支えてくれた人生訓を学びました。それは「真実を恐れるな」ということです。人間というのは、自分を格好良く見せたいと背伸びしがちです。できないことをさもできるように錯覚しがちです。だけれどもその時々自分の身の丈のことしか実際にはできないのです。

新聞記者時代、思うような記事を書けないで悩み、長く悩んだ末に、ある時ふと気がきました。今すべきことは、自分の持っている実力をだしきるよう努力することだ。要は自分の身の丈を知り、その中で精いっぱい努力することが、結果的にステップアップにつながると思ひ知りました。「真実を恐れるな」です。

どうか皆さんには自分の今ある姿を直視し、現実と真摯に向き合う中で一歩でも高みに上がるよう努力する人間になっていただきたいとお願ひし、祝辞と致します。

平成 25 年

# 成人式

～ 式典・祝賀会 ～

平成25年1月13日(日) 10:00~13:30  
於) ホテル日航金沢 孔雀の間/ル・グランシャリオ

## 式典

### 羽ばたけ新成人

#### 二十歳の式典

晴れ舞台を祝うような青空が広がる絶好の日和。真新しいスーツや振り袖姿に身を包んだ新成人は、人生の節目に自覚を新たに式典に臨んだ。大人になることへの喜びと戸惑いが、はにかんだ笑顔から伝わった。仲良しの幼なじみとの久し振りの再会に話が弾み、晴れやかな笑顔で記念撮影。父兄も笑顔で、愛娘や孫の晴れ着姿に見とれながら盛んにカメラのシャッターを切っていた。

皆が拍手で迎える中、館長の先導で新成人者は整然と入場。司会は、中村衛氏。全員起立で国家斉唱。金沢市民憲章は、代表市村和也さんが前文を読み上げ全員で唱和。



厳肅な成人式典

## 先輩(弥生小)からの激励



村田 彦二さん

私は弥生小・泉中で学び、高校卒業後、京都の大秦「中村座」に入り、現在は殺陣師として指導、出演をしています。世の中は時々変化していますが、変わらないのは皆さんが「弥生つ子」だということ。この弥生の地で学んだ精神を忘れずに、接する人に思いやりをもって、これからの人生を進んでほしいです。何時の日も明るく元気に。



奥村安由子さん

美大で学び、印刷会社でデザインの仕事をしています。二十代は社会人としては未熟なのに責任を問われる辛く困難な時期です。でも二十代は困難を乗り越える体力・精神力があります。乗り越えて欲しいです。また選挙には必ず行つて下さい。それは自分たちの生活に結果が結びつくものです。大切な人の為にも、自分の為にも。

## 謝辞(お礼の言葉)

新成人代表 村田 真翔

本日、私たちが晴れて成人式を迎えることができましたのも、今日まで私たちがかわりあい、愛情深く私たちを育て、励まし、ご指導頂きました家族や先生方、地域の方々のおかげであると心から感謝しております。

私たちは、これから一人の大人として地域の一員となりますが、少子高齢化が叫ばれている今、地域の若者の力がより必要と思っております。この弥生の校下が、そして金沢市が、住みやすく活気あふれる街である為にも、私たち新成人が地域の為にやるべきことを見つけて、取り組む事



力強い宣言の謝辞

が必要ではないかと思えます。それぞれが大人としての自覚を持ち、責任ある社会人として自分の選んだ道を歩んでいく決意をここに宣誓申し上げます。



## 恩師の言葉

升田真由美

「明日が見えなくても」  
「今は見える」  
「今日が見えなくても」  
「今は見える」  
「今一瞬を大切に」

## 二十歳に誓う

公民館館長・校下町会連合会会長・金沢市長代理から期待の祝辞。先輩の助言・激励は村田彦二さん・奥村安由子さん。思いやりを持ち前に進んでと優しく諭すように話しかけられた。

来賓の紹介祝電の披露、金沢市から記念品贈呈は相河未有さんが代表で受理。謝辞（お礼の言葉）は村田真翔さんが謙虚でそして希望に溢れた力強い言葉で宣言。明るい選挙推進の決議文は、湯浅祐輔さん。姿勢よく張りのある声で読み上げ、全員拍手で決意表明。グッドマナー宣言は沼田夕里香さん、全員で唱和。厳肅な雰囲気の中で、整然と式典を終えた。

# 祝賀会

## 再会を祝い、溢れる笑顔

喜多俊之・伊藤七海さんが司会。シャンメリー（弱葡萄酒で乾杯。時間が経過すると自然に会場は盛り上がり、各テーブルとも話が弾み、笑い声が絶えなかった。軽食を好みに合わせ口にしていった。そして、互いに記念写真を撮り旧交を深めていた。児童館から、小学校四年

時の「十年後の私」を記した封筒が渡され、照れながら見入り思い出懐かしく読んでいた。恩師の先生は、「大人になったねと思う。話を聞いていると、六年生の時より頑張っていると思うし、それが成長です。」と感想を言われた。司会者は、全員にマイクを向け近況報告を受けようと動き回り、進学校名・職業・将来の夢などを語って貰っていた。結婚した女性もあり、拍手喝采を受けていた。

尽きることのない会話。大いに盛り上がり、祝賀会は終了した。快晴で、会場から市内全域と冠雪の白山が手に手を取るように綺麗に見え、日本海も見渡せ素晴らしい日和とひとときだった。

皆さんと一緒に過ごした一年間、あの頃より大きく成長され夢に向かって進もうとしていることでしょうか  
「自分のやりたいこと」「今しか出来ないこと」を見つけてそれに向かって頑張っ  
てほしい  
松井選手の引退会見、穏やかな表情でやり遂げた充実感が強く感じられた。自分らしく一歩一歩、ゆっくり歩んでください  
橋本 明子



金沢市民憲章



明るい選挙決議文



グッドマナー宣言



記念品の贈呈



まだ緊張の成人者たち



再会を祝う成人たち



## 新成人のメッセージ

# 第50回 金沢市公民館大会

# 公民館フェア 楽集

とき 2013年 会場 金沢市文化ホール(金沢市高岡町)  
2月16日(土)・17日(日)

粉雪の舞い散る天気の中、金沢市文化ホールにて、第五十回金沢市公民館大会が開催されました。式典では、東日本大震災被災地の宮城県名取市の「関上太鼓保存会」が特別招待、公民館連合会会長 関戸正彦氏の挨拶、野口弘金沢市教育長の式辞、優良役員、永年勤続職員、永年勤続役員、永年勤続職員の表彰、山野金沢市長の祝辞がありました。

**永年勤続役員表彰**  
おめでとうございます。そしてありがとうございます。

本年は永年勤続表彰で二十五年勤続で小林美智子、酒井守三の二氏、十年勤続で潟上彰子、野村博子、畑明美の三氏が受賞されました。女性学級、環境部、視聴覚部、運営審議会など各々の分野で、持ち前のリーダーシップを発揮され、公民館活動の発展に寄与されました。皆様の益々のご活躍を期待しています。



受賞者の皆さんと山本館長



宮城県名取市関上太鼓保存会の太鼓演奏と大漁唄が披露され、最後にリーダーが「復興はまだですが、笑顔で前へです。前へです」と宮城なまりで話されていたのが太鼓の音とともにずしりと響く言葉でした。

## コーラスフェスティバル

## 弥生コーラスの歌声

コーラスは、指揮…笠野泰子先生、ピアノ…稲田育子先生の指導のもと、総勢二十一名が出演。週一回の練習、そして今年度は内灘文化祭での出演実績もふまえて、「コスモス」「春が来た」の春を待つ乙女ところが客席まで伝わるような、爽やかな二曲でした。



春をまつ歌声

## 創作 作品展

創作作品展には今回は、ナプキンデコパーージュと籐手芸、さくらセミナーに於いて制作の巾着袋やリサイクル教室の作品が出展されました。



今年1月の制作風景です。

メンバー全員の木箱の作品です。綺麗でしょ。



ナプキンデコパーージュというのは、まだ知らない人も多いですが、プリントされた紙ナプキンを糊で貼ってレースなども使い、白い表紙のアルバムや薄茶の素鉢、アクリル透明のティッシュカバーなどを自分だけの物に変身させ、生活の中で色を楽しむといったものです。公民館では、「クラフトマリス」主催の高瀬真理先生の教室が去年は5回ありました。

**【少年教育部】  
冬のミニ運動会**

1月20日(日)弥生小学校体育館にて、『冬のミニ運動会』が開催されました。参加者は小学生とその家族など約60名。総合型地域スポーツクラブ「おもしろげん」の東さんの進行で軽快にテンポよく進みました。

「しっば取り鬼ごっこ」や「ぱっくん競争」など、馴染み深い競技を始め、「キンボール」と呼ばれる122cmの巨大なボールを床に落とさないようにするカナダ生まれの新しいゲームにも挑戦！短い2時間程度の運動会でしたが、楽しく体を動かし、お互いの交流を深める良い時間だったのではないかと思います。



**【環境部】温暖化への挑戦、  
そして美化活動** 部長 島田尚蔵

1. 二酸化炭素削減  
家庭のCO<sub>2</sub>の排出量算定と削減に取り組んで5年が経過します。CO<sub>2</sub>排出量の一例(3人家族)ですが、平成22年度は年間一世帯当たり5.6トン、平成23年度は4.5トンでした。削減内訳は、“電気は横ばいでしたが、ガソリン、灯油、もやすごみの削減”でした。平成24年度も3月に金沢市の評定をうけます。

震災後、CO<sub>2</sub>削減の報道も冷め、エネルギーに関心が集まってきていますが、当活動も毎月の『使用検針票』と『数値の即時表示』の電気スマートメータの取り入れで、より楽しく継続したいと考えています。

2. 公民館の定期清掃  
今まで大勢の皆様で年末などの節目に大掃除を行ってきました。更に10月から部員と賛同者で月2回の重点清掃を行い、無理のないボランティア活動を行っています。皆様の参加をお待ちしています。



**【みどり学級】  
つぼと健康** 部長 竹田 浩

2月9日健康講座は、「むくみと冷え」、「つぼとお灸」、「家庭で出来る体操」について、『デイハウスサービスふいとねず』施設長小泉氏ほか二名のスタッフによるお話と実技がありました。3月12日、24年度閉級講演は鴨野先生の「現代の社会問題と法」でした。新年度はまた新たなテーマのもと楽しく有意義な活動を目指したいと思います。



平成二十四年度

各部の活動  
を振り返って

**【少年教育部】  
ユニセフ募金活動**

12月8日(土)約20名の子どもたちが募金活動に参加しました。育成委員長の渡辺さんを始めとする育成委員が見守りとして付き添いました。



おはようございま〜す。

風に負けにくいくらいの大きい声で呼びかける子ども達、地域の方との温かいふれあいが印象的でした。



真剣な表情でポスター作り!

**【視聴覚部】  
24年度を振り返り** 部長 吉野更二

24年度も「やよい写真教室」として、写真講座を年6回、写真展示会を年2回開催しました。講座は選任した講師により毎回約20名の会員の撮影した写真4枚について講評を受けました。講師が撮影した作品を参考として基本知識から高度なテクニックなど解説してもらいます。展示会は10月に芦中郵便局で、3月には初めて専門の「アートシアターいしかわ」で開催しました。やはり来場者数は格段に増加し、全員の意欲に盛り上がりをもたらし、種々相俟って作品は更に向上しております。

**【体育レクリエーション部】  
おわりにおもうこと** 部長 松田 啓

昨年の台風による社会体育大会の中止は事前の準備も含め、担当する体育レクリエーション部にとっては残念でしたが、弥生ソフトバレー、YGC、弥生バドミントンの各クラブの市民大会の年代別優勝、上位入賞などの大活躍で60公民館中8位となりました。校下には、潜在的に多くの方が卓球をはじめ多くの種目への参加を望んでいると聞きます。また、クラブ員の年齢が上がり、より若い世代へのアプローチが来年度より大きな課題でしょうか?

**【さくらセミナー】  
多くの方々の参加を!** 部長 東 晴美

1月24日(木)、石川テレビ放送・大野ヤマト醤油・海みらい図書館に行き、報道部長のお話やスタジオ見学、デジタル化した図書館など、変わりゆく地場産業・施設の特徴を学ぶことができました。今年度も多種のテーマでの生涯学習を実施してきましたが、25年度も男女を問わず幅広い年代の方々に、参加していただけるように、新しい企画を取り入れていきたいと考えています。

# 弥生のちから

本年は、弥生校下にある歴史情報。或いは皆さんがお持ちの技術などをお伝えします。地域探訪、作品作りにチャレンジしませんか？  
今回は、千代女ですっかり有名な『念西寺の由来』『さくらセミナーの巾着作り』です。

## 弥生の歴史

### 浄土宗 念西寺の由来

伴田清観

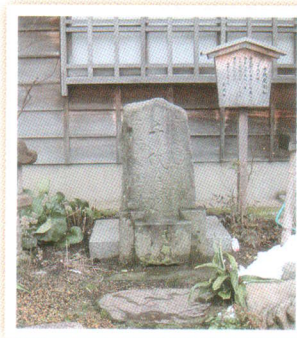
浄土宗佛帰山念西寺の開白は非常に古く、室町時代あるいはそれ以前とも伝えられている。元は如来寺の末庵にて旧木町四番丁にあった。寛永の頃、念西天徳がこの寺に安置されている延命地藏菩薩の雨露を凌ぐ堂宇すら、ないのを悲しみ修覆再建し、ここに住職となり住居した。(二六二〇)



爾来、念西院と称した。堂内に安置されている延命地藏菩薩は、坂上田村麻呂將軍が戦勝祈願に作られた。念西大徳が天和二年八月三十日(二六八二)に示寂しその後、数代を経て文化三年(一八〇六)に大誓円入智鏡比丘尼がこの寺の尼僧初代住職に就き、以後代々尼僧が住職となり現在は十八代である。

千代尼が念西寺で、宝歴四年(二七五四)五十二歳で、剃髪し素園と号し、五年(一七九一)年あまり当寺に起居した。山門を入った左手に建つ千代尼塚が当時を偲ばせる。

千代尼塚は文化八年(二八一二)千代尼の養子白鳥の尊像にして迎も靈験あらたかなるを以つて、今も多くの人々の信仰を集めている。金沢地藏菩薩めぐりの第五番札所である。



念西大徳の時代、加賀藩前田中納言利常公が小松城へ往來の折、道中行列立て直しの休息所に選んだ折は、広大な土地に堂宇の輪奐も整えられ、一帯は永く繁栄したが時の移り変りに従い盛衰があり、現在はその一部を残しているに過ぎない。願いにより千代尼の三十七回忌に建立されたもので苔むした自然石には

大阪屋屑れの筆による

「あさがおや釣とられて貰い水」  
「百生や蔓ひとすじの心より」の二句が刻まれている。昭和三十五年三月金沢文化財指定となる。



## 弥生の技術

### 巾着小銭入れの作り方



#### ■材料

表布・裏布 直径20cm(縫い代2cm含む) 1枚ずつ

バイアステープ 長さ32cm 幅5cm ×2本

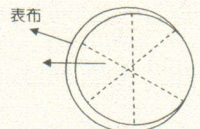
ひも 40cm×2本

チューリップのボンボン 2個 (綿を少し入れます)

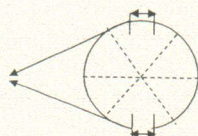
捨て布 表布と同じ大きさ (表布が薄いときに使います)

#### ■作り方

1. 外表で表・裏布を合わせてキルト縫いをします。(手縫いします)



切り込みを入れます

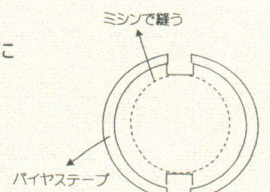


2. バイアステープを付ける前に(表・裏布の)空き口の始末をします。切り込みを入れて内側に曲げまつります。(切り込みは少なくして)

3. バイアステープの両端を内側に折り込んで始末してから表布にバイアステープを付けてミシンで縫います。

4. バイアステープを裏布に付けてまつり縫いします。

5. 紐を通してチューリップのボンボンを付けて完成です。



**あながき**  
教育基本法では、体罰を禁止しています。それにも拘わらず、体罰やいじめで命を落とす子どもが後を絶たず、命を奪った事実には釈明の余地はありません。教育行政の閉鎖性は酷く、いじめや体罰を隠蔽したという意識がないと評している人もいます。今年の成人式で、「真実を恐れるな」と言う言葉がありました。事実を隠そうとし、大切なことを見落としていると思うのです。

これからの次代を担う子どもにも体罰ではなく、期待する誉める言葉、やる気を起こさせる言葉が必要ではないでしょうか。子どもを誉めない人は子どもを伸ばすことは出来ないと言われていますか。

(南)